

# アイアイハウスのめざすもの

～アイアイハウスに関わる全ての人たちの「夢・希望・願」を実現するために、めざしていることをわかりやすくお伝えしていくコーナーです。～

第18回は、

「アイアイハウスを振り返ろう①」

です。

## ★むかしを振り返って考えることとは…？★

アイアイハウスができて28年を迎え、少しずつですがアイアイハウスは発展し法人全体も大きくなってきました。変化を積み重ねた今、設立当時を知らない仲間・家族・職員も多くなっています。当時を振り返りながら、昔も今も変わらない仲間や関係者の願いと思いを確認することがこれからのアイアイハウスにとって大切なことと思います。今年度は「アイアイハウスを振り返ろう」を4回シリーズでお伝えしていきたいと思っています。

## ～ 2名の仲間からはじまったアイアイハウス。あれから28年… ～

アイアイハウスは、京都府立盲学校の教職員や家族の願いをもとに1988年4月に2名の仲間が無認可の共同作業所としてスタートしました。2階建ての小さな一軒家を借りて、手作り和紙封筒やパン作りの仕事をしていました。お昼ご飯はお母さんたちによる温かい手作りのおいしいご飯です。みんなと一緒に食べる時間がとても楽しい時間でした。

その頃のアイアイハウスは、運営状況が大変厳しいものでした。みんなで力を合わせ、バザーやまつりを開催し必死でアイアイハウスの運営資金作りを、アイアイハウスを支える会や盲学校の教職員の方々、家族、職員一同が支えてきました。

あれから28年がたち仲間は26名となりました。来年度にはもう一ヶ所の20名定員の生活介護事業所をオープンし、仲間も総勢40名になる予定です。大きく変わった今、どの時代も仲間や家族の願いを一番に考え、その願いを実現させながら発展して



1988年開設 初代アイアイハウス



1999年7月に開所した第2アイアイハウス

きたアイアイハウスです。28年前には想像もできなかったことと思います。大変だった運営状況も少しずつですが安定したことで、より仲間の願いが実現できるようになったことは間違いありません。以前は、バザーやまつりの開催に関係者は苦勞したことと思いますが、関係者がひとつになり団結しながら「仲間のために！」と必死だったことと思います。その頃の関係者の気持ちをこれからも大切に受け継ぎながら、発展していけるようアイアイハウス関係者一同がんばってまいります。